

各 位

会 社 名 TL ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 佐藤 浩二  
(コード 3777・JASDAQ)  
問合せ先 取締役経営企画管理本部長  
中澤 秀俊  
(TEL. 03-5809-1850)

営業外収益及び特別損失の計上、並びに、  
平成 23 年 12 月期第 2 四半期連結累計及び通期の連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 23 年 12 月期第 2 四半期連結会計期間（平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 6 月 30 日）において、多額の営業外収益及び特別損失を計上いたしますので、その内容をお知らせするとともに、平成 23 年 5 月 13 日に公表いたしました平成 23 年 12 月期第 2 四半期連結累計及び平成 23 年 12 月期通期の連結業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 営業外収益の内容

①持分法による投資利益 810 千円

当社の持分法適用会社である Turbolinux China Co., Ltd の第 2 四半期連結会計期間において発生した利益に対する当社グループ持分にかかる投資利益を計上するものであります。

②為替差益 △91 千円

当社の子会社であるターボリナックス株式会社、ゼンド・ジャパン株式会社及び CJ-LINX Capital Management Ltd. の第 1 四半期連結会計期間において発生した為替差損益を計上するものであります。

## 2. 特別損失の内容

①関係会社整理損 16,983 千円

平成 23 年 3 月に CJ-LINX 株式会社、CJ-LINX Finance 株式会社及びターボシステムズ株式会社の当社グループが保有する株式を売却した後に発生した損失を計上するものであります。

②固定資産除却損 726 千円

当社グループが平成 23 年 6 月の事務所移転時に固定資産を除却したことによる損失を計上するものであります。

### 3. 連結業績予想数値の修正

#### ①平成23年12月期第2四半期連結累計の業績予想数値の修正（平成23年1月1日～平成23年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A) 平成23年5月13日公表	百万円 44	百万円 △71	百万円 △76	百万円 △100	円 銭 △500 26
今回修正 (B)	30	△102	△85	△127	△624 16
増減額 (C) = (B) - (A)	△14	△31	△9	△27	△123 90
増減率 (C) / (A)	△31.8%	-	-	-	-
[ご参考]前年同期実績	294	△179	△254	△281	△1,614 66

#### ②平成23年12月期通期の業績予想数値の修正（平成23年1月1日～平成23年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A) 平成23年5月13日公表	百万円 88	百万円 △124	百万円 △134	百万円 △158	円 銭 △790 41
今回修正 (B)	88	△146	△134	△176	△700 70
増減額 (C) = (B) - (A)	-	△22	-	△18	89 71
増減率 (C) / (A)	-	-	-	-	-
[ご参考]前年同期実績	426	△368	△437	△667	△3,636 74

### 4. 修正の理由

#### ①平成23年12月期第2四半期連結累計

売上高予想につきましては、東日本大震災の影響による IT 投資への優先順位の変化が影響し、サーバー系ソフトウェア販売の売上が第3四半期以降へずれ込んだため、売上高予想を44百万円から30百万円に下方修正するものであります。

営業利益予想につきましては、売上高の下方修正及び予想した粗利率が下回ったことから売上総利益が12百万円減少しました。一方、販売費及び一般管理費においては、人件費は計画通り削減できたものの、予想発表時に想定した金額を上回る弁護士報酬、事務所移転費用、ファイナンスに係る支払手数料等の経費が増加したため、営業利益予想を△71百万円から△102百万円に下方修正するものであります。

経常利益予想につきましては、持分法による投資利益11百万円及び為替差益5百万円を計上したものの、営業利益の下方修正により、経常利益予想を△76百万円から△85百万円に下方修正するものであります。

当期純利益予想につきましては、経常利益の下方修正及び2.記載しました特別損失の計上により、当期純利益を△100百万円から△127百万円に下方修正するものであります。

#### ②平成23年12月期通期

売上高予想につきましては、上記①で記載しましたように第3四半期以降にずれ込んだ売上が計上できるものの、売上高が当初の予想を回復できるものではなく、期首から行っている IT 関連事業の新規市場開拓の実践による売上高を加え、平成23年4月28日に公表した同じ88百万円の予想にしております。

営業利益予想につきましては、第3四半期以降の売上高予想が増加し、IT関連事業に係る経費等の削減等を行うものの、第2四半期連結累計の営業利益の下方修正により、営業利益予想を△124百万円から△146百万円に下方修正するものであります。

経常利益予想につきましては、第3四半期以降の営業利益が改善することにより、平成23年4月28日に公表した同じ△134百万円の予想にしております。

当期純利益予想につきましては、第3四半期以降の営業利益が改善するものの、2.記載しました特別損失の計上により、当期純利益予想を△158百万円から△176百万円に下方修正するものであります。

(注) 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上